長崎市立岩屋中学校　　学力向上プラン（2026.8～2027.7）

【長崎市第五次総合計画】基本施策 G1「新たな時代を生き抜く子どもを育みます」→2030 年度にめざす姿　長崎のまちを愛し、変化に対応しながら、新たな時代を自分らしく生き抜く力を身に付けている。

個別施策 G1-1「確かな学力の向上を図ります」G1-2「健やかな心と体を育成します」G1-3「家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります」G1-4「安全・安心に学べる教育環境を整備します」

学校教育目標　　志は高く、思いやりの心は深く、心と体は強く

研究テーマ R8　「　自己分析力を高める生徒の育成　～　自分の考えを言語化する活動を通して　～　」

長崎県　学力向上のための三つの提案を基にした本校の取組

「できた」「わかった」の笑顔があふれる授業	「夢・憧れ・志」を共に育む家庭・地域との連携	生徒が成長する喜びを分かち合う職員室
○「めあて」と「まとめ」が生徒に届く授業 ○ねらいに即した「書く活動」を重視する授業 ○「学習規律の徹底」と「支持的風土の醸成」により安心して学べる授業	○課題の質と量を見極め、自主的な家庭学習の習慣化を図るための連携 ○生徒の学びを認め合い、自己肯定感を高めるための連携 ○学校での学びを生かす場を創るための連携	○全職員が自校の課題を理解し、日々の授業改善につなぐ職員室 ○研修の機会を学校の内外に求め、学び続ける職員室 ○学年・教科・世代を超えて語り合う職員室
・全授業での「めあて」「まとめ」を確実に生徒に届ける授業を、教科の実情に合わせて実践する。 ・失敗から学ぼうとする態度を育むことを目的として、ペアやグループ活動を積極的に取り入れ、教え合い、認め合う中で、安心して学び合える雰囲気を作り出す。 ・表現力（思考する → 書く等）を育成するために、スモールステップを積み重ね、自分の力で表現する力の土台を築く指導を行う。 ・ＩＣＴを活用することで、多様な生徒を一人も取り残すことなく、公正に個別最適化されたことによる各生徒の資質能力の育成を成し得る環境を作る。	・家庭学習のやり方（演習型、まとめ型）のパターンを複数提示して、毎日〇ページ、週〇時間以上など各学年で数値目標を決める。 ・授業や家庭学習で Qubena を活用し、個に応じた学習の推進を図る（１ヶ月で解答数 300 問以上）。 ・Chromebook の活用について「いつ」「どこで」「何を」するかを教科ごとに計画し、学期ごとに振り返り用紙に記入し、より効果的な利用法について検討する。 ・職業人講話、人権学習等あらゆる機会で、地域の人材を活用し、「夢・憧れ・志」を育む。 ・学校便り、学級通信等を通して、学力調査や学習状況調査の結果に基づいた課題や取組について家庭に知らせる。	・全職員で過去の学力調査問題の分析・共通課題及び対策の検討をする。 ・年１回以上の全職員参観の研究授業を実施する。他者の授業を参観し合い、指導力を高める。 ・月１回の生活アンケートを活用し、生徒理解に努める。生徒の顕著なまたは些細な良い行動を共有し合い、自己有用感を高めるための声掛けを積極的に行う。月２回の学年会を含め、日頃から積極的に生徒の情報交換を行う。 ・総合的な学習の時間や道徳等、各教科における生徒の反応や授業の展開について気軽に意見交換できる職員室の雰囲気を作る。

＜数値目標＞　・学力調査の全教科で、全国、県、市の平均を超える（２ポイント以上）。

検証軸　　・平日の家庭学習に 30 分以上取り組む。（８割以上）